

令和4年度 ホソカワ粉体工学振興財団 KONA 賞ならびに研究助成事業のご案内

公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団

当財団は、粉体工学・技術の発展に資することを目指して、平成3年(1991年)に創設され、平成24年に公益法人に認定されました財団法人で、毎年、粉体工学に関する講演討論会の開催や、英文学術誌 KONA Powder and Particle Journal の出版などの事業を進めると共に、大学等の研究機関に所属されている方々を対象として主に下記のような内容の助成事業を行っております。

1. 粉体工学に関する優れた研究業績に対する褒賞 (KONA 賞)
2. 粉体工学に関する研究のための研究費助成
3. 粉体工学に関する研究者育成のための援助
4. 粉体工学に関する学会・シンポジウム等開催の援助

これらの助成事業は、例年5月から募集を開始し、7月下旬に締め切られ、選考委員会での審査、理事

会での承認を得て、12月に採択結果が発表されます。ご応募には、所定の推薦書あるいは申請書の提出が必要です。

助成対象や申請方法、提出締切日等の募集要項の詳細につきましては、2022年4月頃に当財団のホームページ等で公開の予定です。申請書等の必要書類は、財団ホームページ内の下記の助成事業サイト (<http://www.kona.or.jp/jp/grants/index.html>) からダウンロードいただくか、または下記にご連絡下さい。

<推薦書・申請書の提出先および連絡先>

(公財)ホソカワ粉体工学振興財団 事務局

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 1-9

TEL: 072-867-1686 FAX: 072-867-1658

E-mail: contact_zajosei@hmc.hosokawa.com

URL: <http://www.kona.or.jp>

編集後記 Editorial Note

今年も毎日、新型コロナウイルスのニュースがない日はない状況でした。昨年の初めから世界に蔓延し、米国では1日25万人を超える感染者が出る日もありました。東京でもほぼ無観客で開催されたオリンピック直後の8月13日をピークとする第5波では感染者が1日5千人を超え、全国では2万5千人を超える状況でしたが、春から始まったワクチン接種の効果が現れてきたのか、緊急事態宣言が終了した10月から急激に感染者数が減少しきており、早く収束することを願っています。

この新型ウイルスの発生についてはその原因が明らかになっていませんが、一説には地球温暖化により凍土が溶けて、眠っていたウイルスが復活したような可能性も指摘されています。本年は、温暖化によると考えられる猛暑日の増加や大規模な山火事、豪雨や竜巻の頻発、サンマやウニなど多くの海産物の漁獲高の激減等々様々な問題が発生し、これらがますます身近になってきた感じがします。今年のノーベル物理学賞が授与された真鍋淑郎氏らの研究も、気象学の分野での正にこの地球レベルでの温暖化の機構解明にありました。

また最近、持続可能な社会を実現する開発目標としてSDGsへの関心が徐々に高まりつつありますが、その17の目標項目の中に、気候変動に具体的な緊急対策を講じる

という項目が挙げられています。この地球温暖化対策に関しては、2015年のパリ協定で、世界の気温上昇を産業革命以前と比較して2.0°Cより小さく抑える目標が掲げられています。現状のままでは今期末にはこれを大幅に超えることが予想されるため、各国で2050年近辺までの温室効果ガス排出の実質ゼロを実現する取組みが広がっています。これらを具体的に推進するために、様々な製品の原料となる粉粒体の効率的な処理や高機能化製品を生み出すために有用な粉体工学・技術が貢献できる要素が多く含まれていると思われます。

本号の粉砕誌については、本年9月に開催予定していた第54回粉体工学に関する講演討論会がコロナ禍によりさらに1年延期となったため、その講演資料が掲載できなくなりました。そこで、やはり本年に開催予定で1年延期となった第27回ホソカワ粉体工学シンポジウムの講演用原稿と共に、2020年KONA賞対象研究に関する英文原稿を和訳して頂き、追加の特集、テクニカルノートと共に本誌に掲載することになりました。

本誌につきまして、ご意見、ご要望等がございましたら、何なりと事務局までご連絡頂けましたら幸いです。ご寄稿も歓迎致します。よろしくお願い致します。